

「出来るADL」と「しているADL」の差を縮める！ リハビリ・トレーニング効果を向上させる 新しい視点の活動分析と介入セミナー

運動分析や課題分析をクリアに行うプロセスを学ぶ

－ エビデンスに基づいた活動障害の評価、リスクを回避しながら活動性を向上させるための技術 －

セラピストは、生活機能の低下した高齢者に対して身体機能の改善だけを目指すのではなく、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく多面的に働きかける必要があります。また、活動・参加が不十分となる要因として、動作不良があげられるので、機能障害を特定する動作分析はADLを高め、QOLの向上を目指す上で重要となります。しかし機能訓練が漫然と実施され、訓練そのものが目的化してしまっているケースも見受けられます。

このセミナーでは、利用者主体の日常生活に着目した目標を設定するための活動分析と介入方法を学び、利用者が在宅生活をイメージし、「したい」「してみたい」「うまくできるようになりたい」と思う生活行為を引き出す実践について学びます。

福岡会場

日時 2019年 6月22日(土) 10:00 ~ 15:30

会場 リファレンス駅東ビル貸会議室
(博多駅筑紫口より徒歩5分)

参加費 12,000円(税・資料代込)

大阪会場

日時 2019年 7月13日(土) 10:00 ~ 15:30

会場 天満ガーデン
(大阪市営地下鉄堺筋線・谷町線南森町駅3番出口より徒歩3分)

参加費 12,000円(税・資料代込)

東京会場

日時 2019年 8月17日(土) 10:00 ~ 15:30

会場 国際ファッションセンター
(都営地下鉄大江戸線両国駅A1出口に直結)

参加費 12,000円(税・資料代込)

内容

※内容は変更になる場合がありますことをご了承ください

ADL そのものへのアプローチと機能障害へのアプローチ

- 知っておくべきADLの注意点
 - ・ 医介連携に必要なBIとFIMの違いとそれぞれの特徴の理解
 - ・ 最大能力(できるADL)と実用能力(しているADL)を捉える視点
- ご利用者、家族、スタッフで大きな乖離「できるADL」と「しているADL」
 - ・ 乖離が生じる原因は「生活でのADL」と「現場でのADL」という視点の違い
 - ・ ご利用者、家族から情報収集することの重要性
 - ・ ご利用者、家族へのフィードバックとADLを汎化する働きかけ
- 利用者の状態を情報共有する工夫
 - ・ 共通言語でのやりとり ・ 担当者会議で共通認識をもつ
 - ・ 情報提供書の標準化
 - ・ 適材適所の情報共有と専門職の特化した職能の理解と尊重
- ケアを阻害する因子
 - ・ 内的要因と外的要因の把握をした上で、個別的な阻害の因子の整理・分析
 - ・ 効果的なケア計画書、リハビリ計画書への繋げ方
- ケア、リハビリ現場で気を付けるべきポイント
 - ・ 利用者のモチベーションを向上させるプロセス
 - ・ 多職種が共通認識を持ち自立支援に向け関わる仕組みづくり
- ケアの工夫で脳が動き身体が動く
 - ・ 脳内ネットワークが望ましい方向へ伝達される脳のメカニズムの視点
 - ・ 何が正しい動作なのか…トライ&エラーの中での学習促進
- 身体機能・認知機能の評価と介入
 - ・ 疾患別のスクリーニング評価
 - ・ 一連の評価と介入のリーズニング過程
- 日常生活を想定した関わり
 - ・ 課題となっている動作や活動はどこが問題でどこに伸びしろがあるのか
 - ・ 運動分析と課題分析
- 実技・演習など
 - ・ 日常生活を想定した介入ベースとなる姿勢、動作分析
 - ・ hands onからhands offに移行していく判断とプロセス



講師：末吉 恒一郎 氏

(医療法人おもと会 大浜第二病院 リハビリテーション科統括科長)
平成11年に理学療法士の免許取得後、大浜第一病院の急性期に入職。その後、同法人の大浜第二病院の回復期病棟に異動となり、平成27年より現職。急性期、回復期での現場・臨床経験、在宅(訪問リハ)、通所リハ、通所介護などでのマネジメント経験は豊富。医療から介護へのシームレスな連携のため、地域ケア会議などにも積極的に携わっている。
沖縄県理学療法士協会理事、日本理学療法士協会代議員、沖縄リハビリテーション専門職協会代議員など役職多数。

新しい視点の活動分析と介入セミナー 参加申し込み書

FAX 084-948-0641

| ご希望の日程に○をしてください | | 福岡会場(6/22) | 大阪会場(7/13) | 東京会場(8/17) |
|-----------------|---|----------------|-------------|------------|
| ふりがな | | | TEL | |
| 氏名 | | | FAX | |
| 住所 (自宅勤務先) | 〒 | 連絡先 (自宅勤務先) | 携帯 | |
| 勤務先 | | | メール (必須) | |
| | | | 職種 | |

※上記個人情報は、本研修会の管理・運営またはその他研修のご案内にのみ使用します。 ※いただいた個人情報は当会の「プライバシー・ポリシー」に従い適切に管理いたします。

お問合せ 721-0902

広島県福山市春日町浦上1205(株)QOLサービス内

HP

https://tsuusho.com/activity_analysis/

日本通所ケア研究会事務局
共催：NPO法人日本介護福祉教育研修機構

TEL 084-971-6686

FAX 084-948-0641

